

やまが Yamaga City council News 市議会だより

第36号
9月定例会

令和4年11月1日
発行／山鹿市議会



山鹿地区会場での議会報告会のようす（9月17日開催）

議会報告会の延期について

台風14号の影響を考慮し、
鹿北地区、菊鹿地区、鹿央地区会場の議会報告会は
11月に延期いたしました。
（詳細は、3ページをごらんください。）

《もくじ》

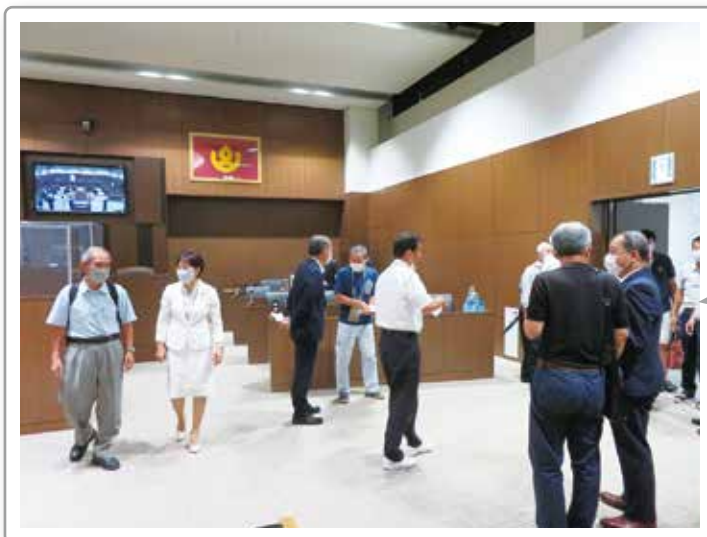
議会報告会	2～3
令和3年度一般会計を決算認定！	4～5
先進地の取り組み（行政視察）	6
委員会報告及び現地調査	6～7
質疑・一般質問	8～12
審議結果・賛否表	13
討論	14
議員研修会報告	15
議会の主な動き他	16

議会報告会を開催!!

9月17日、山鹿市役所と鹿本市民センターにて本年度の議会報告会を開催しました。（他の会場は台風の影響により延期となりました）

今回は山鹿市にとっての重要課題である「人口減少対策」について、市民の皆さんと議員とのグループディスカッションでは、下記のような活発な意見が出ていました。

※鹿央、菊鹿、鹿北会場の日程は左のページをご参照ください。



山鹿会場終了後の議場見学

- 仕事なくて地元に戻れないので、働き場の確保（企業誘致を）！
- 肝いりどんの積極的な活用で婚活推進！
- 空き家バンクの活用、子育て世帯へ空き家の提供を！

- 若い人へ出産祝いなどの助成を！
- 子どもたちと高齢者の交流を！
- 通学路の補修、通勤などの交通網を整備！



鹿本会場の様子（鹿本市民センター）

山鹿市議会 議会報告会

「議員と語る会」

ご参加お待ちしております!

今回は、「人口減少対策」のテーマで
意見交換会を実施します。

報告内容は全ての会場で同じです。ご都合に合わせてご参加ください。
山鹿の未来を議員と一緒に話しましょう!

議会報告会スケジュール

1 11/14^月 19:00~

会場 鹿央市民センター 文化ホール

2 11/15^火 19:00~

会場 菊鹿公民館 大会議室

3 11/16^水 19:00~

会場 鹿北市民センター 大会議室

議会報告会プログラム

合計60分

- ① 開会
- ② 議長挨拶
- ③ 議員自己紹介
- ④ 議会概要報告
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ グループディスカッション
- ⑦ グループ報告
- ⑧ 閉会

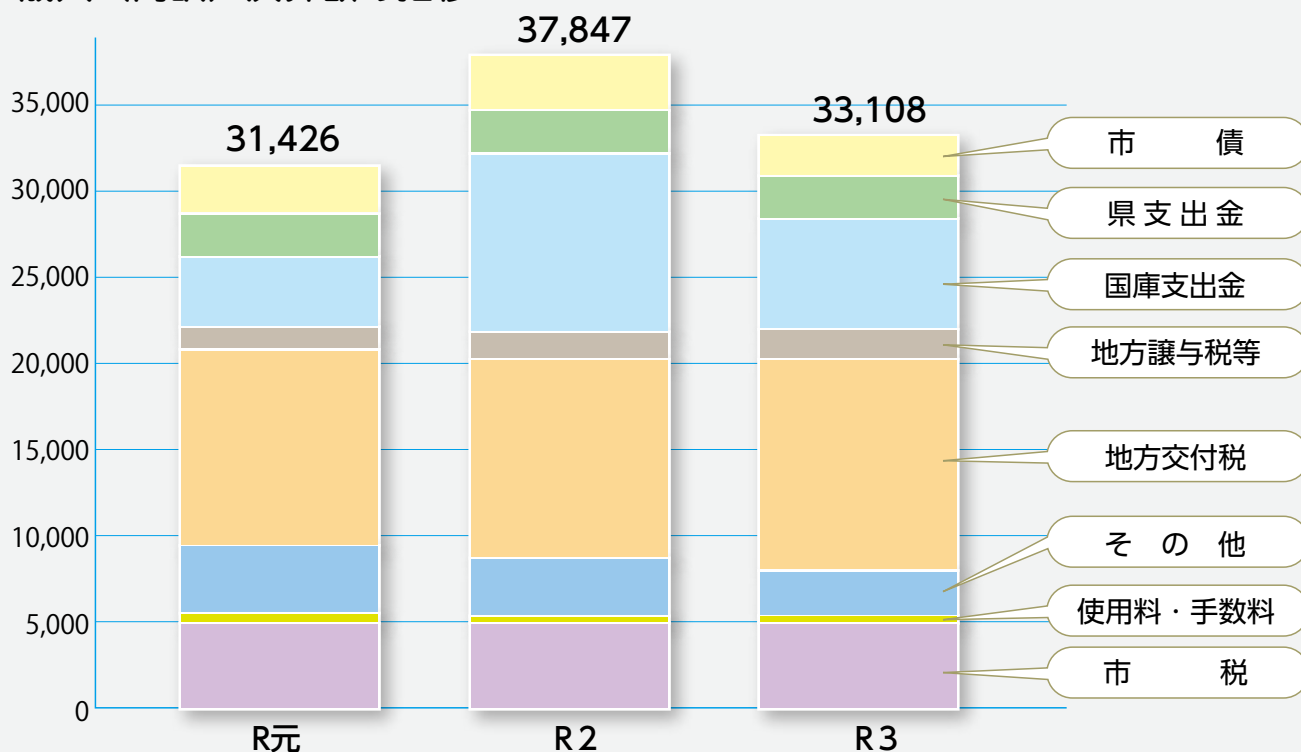
お問い合わせ:山鹿市議会事務局 0968-43-1634

331億835万円 306億644万円を決算認定!

令和3年度の一般会計、7特別会計、3企業会計のそれぞれの決算について、全て認定しました。一般会計の歳入は、前年度より12.5%減の331億835万円、歳出は、15.2%減の306億644万円となっています。（前年度は、新型コロナウイルス感染症対策等により増額）

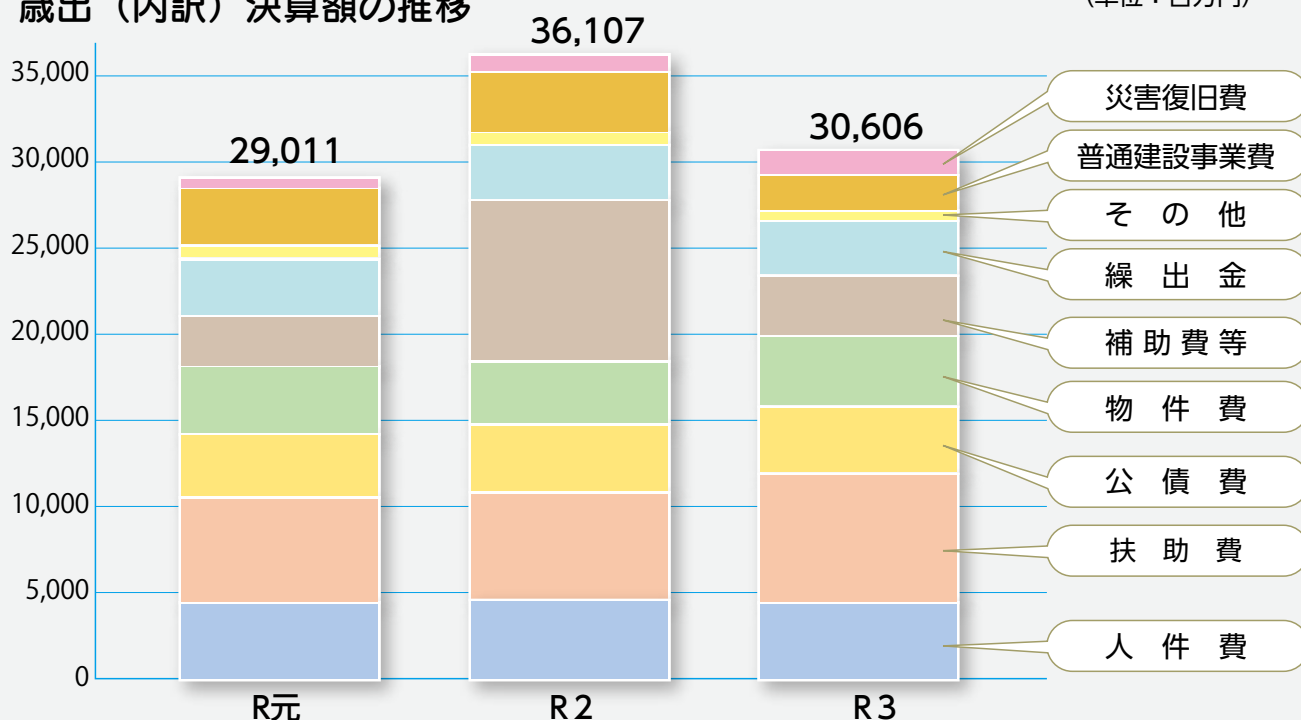
歳入（内訳）決算額の推移

（単位：百万円）



歳出（内訳）決算額の推移

（単位：百万円）



令和3年度 一般会計

歳入総額
歳出総額

議会が

注目

した事業

育児用品購入助成事業

子育て中の
保護者に
高い評価！！

995万円

受給者（保護者）309人
対象者（子ども）314人に支給

防災行政無線施設整備事業

災害に強い
まちづくりへ貢献

3億4190万円

市内全域で統一したシステムを整備し、災害などの緊急情報を迅速に市民へ伝える

新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナ
感染症の収束を願う

4億349万円

3回目接種（R4.3.31現在）
65歳以上 17,418人 93.8%
全年齢（12歳以上） 35,107人 85.4%

企業誘致対策事業

TSMCの進出に
伴い今後に注目

1936万円

工場等奨励金（新たな工場の新設・増設）……14社
雇用奨励金（雇用の拡大）……………2社

消防庁舎施設整備事業（鹿北分署）

女性職員専用の
スペースも確保

2億4262万円

鹿北分署を整備したことで、地域防災の拠点として対応能力の強化へ

カルチャースポーツセンター長寿命化事業

プロスポーツも
利用！

2億1560万円

カルチャースポーツセンターの長寿命化計画に基づき市民球場を改修

地方道路等整備事業

生活道路の
利便性向上へ

3億7044万円

道路改良工事……………29路線
橋梁補修工事……………4橋

市民福祉常任委員会行政視察報告

期 間 令和4年8月2日～4日

視察先 ①秋田県横手市 ②秋田県秋田市

①秋田県横手市

「健康の駅推進事業」

横手市の高齢化率は山鹿市とほぼ同水準の約4割。元気な高齢者をふやすことを目的に、平成15年度から健康のための活動を行う交流拠点「健康の駅」への検討を開始した。現在、専門の運動員が常駐する「大規模健康の駅」が3カ所、小学校や公民館を利用した地域密着型の「中・小規模健康の



横手市東部トレーニングセンター

駅」が91カ所設置されている。市民の健康維持・増進、特に高齢者の健康維持を図ることは、健康寿命の延伸、医療費等の削減につながり、元気な地域づくりは、未来に希望が持てる社会への取り組みになると実感した。

②秋田県秋田市

「エイジフレンドリーシティ」

秋田市では高齢化をプラスに捉えた新しい社会づくりに取り組み、「WHOエイジフレンドリーシティグローバルネットワーク」に承認された第1号の自治体として、新しい社会モデルとして発信されている。

65歳以上の高齢者が1回1000円で路線バスに乗車できる「高齢者コインバス事業」。民間と連携した「エイジフレンドリーパートナー事業」など、高齢者の健康福祉の増進に、市民と行政の連携を取りながら、体系的に推進されており、大変有意義な研修となった。

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

市民福祉常任委員会

9/12開催

◎小川 榮二 ○立山大二朗
北原 昭三 隈部 賢治
永田 壮弘 関口 和良

◆付託案件

議案2件…可決
認定5件…認定
陳情1件…採択

◆主な審査内容

土地開発基金を活用した土地の先行取得について

問 これまでも議会へ説明することなく購入してきた過去があるのか

答

八千代座周辺整備、鹿北小学校整備事業、さくら湯周辺整備事業等があり、いずれも説明は行っていない。

山鹿の未来を担う子ども応援事業について

問 利用期限が1月31日までと短く、子どもの進学進級等で出費が多くなる4月前後には利用できない。また、商品券では給食費に利用することもできない。子育てのために幅広く利用できる内容にするべきではないか

答

商品券にすることで地域内での経済効果も期待している。使用期限については、商品券の利用で浮いた現金をしかるべき時に使用していただきたい。単年事業にとどまらず、継続的な子育て支援策を検討していく。

高齢者住宅助成事業について

問 事業内容と申請なしの理由は

答

対象者は、低所得の介護認定をお持ちの方で、介護保険制度の住宅改修費と合わせて50万円が上限。問い合わせはあるが、決定にまでは至っていない状況。

特定健診受診率について

問 国の目標60%に対して、山鹿市は43・9%と低調な要因は

答

低調だった令和2年度から、個別医療機関での受診期間の延長、未受診者への受診勧奨を強化した結果、令和3年度はコロナ禍以前の水準にまで戻した。国の目標値60%に向け取り組んでいく。

山鹿市病院事業会計決算について

問 修正医業収支比率84%、病床利用率60%と低い数値だが

答

救急医療、小児医療などの不採算部門を担う地域の中核病院としての使命に加え、医師不足の問題が医業収益に大きな影響を及ぼしている。病床利用率については、急性期医療やコロナ患者を受け入れるため、常に利用可能な病床を確保しておく必要がある。

建設経済常任委員会

9/9 開催

◎富丸洋一郎 ○有働 辰喜
松見 真一 高橋 龍一
原 芳郎 深牧 大助

◆付託案件 議案2件…可決
認定7件…認定

◆主な審査内容

◆農業振興施設費について

問 物産館管理費の中でリスク分担に係る経費1千百万円の中に修繕費2百万円が含まれる理由は

答 改修工事中に別途緊急的な設備の不具合箇所が発覚したため市へ相談があった。

状況から見て修繕は緊急を要するため休業期間中に行うことが最適と判断し、基本協定書にのっとり水辺プラザかもと側から発注したもの。

災害復旧工事の事故繰越、繰越明許費について

問 それぞれの件数は

答 農業災害の令和2年分は、事故繰越が33件、繰越明許費はなし。令和3年災害分は、繰越明許費が36件。林業災害の令和2年分は、事故繰越が2件、繰越明許費はなし。令和3年災害分は、繰越明許費が9件。

農業集落排水事業特別会計について

問 委託料5千2百万円とは何か

答 国の要請に基づき、現在の特別会計を令和5年度から企業会計へ移行する準備を進めている。内容は、固

定資産の調査および評価業務と企業会計システムの構築業務。

水道事業会計について

問 予算に比べて、事業収益が約1千百万円減少した理由は

答 給水人口減少にともなう給水量の減少が理由。



矢谷地区瀬野川復旧後



平山地区白銀堰

総務文教常任委員会

9/13 開催

◎勢田 昭一 ○永田 紘二
芋生よしや 金光 一誠
古川 和博 山下 誠治
豊田新二郎

◆付託案件 議案6件…可決
認定1件…認定

◆主な審査内容

◆生理用品の配布について

問 配布の方法や、児童生徒及び保護者への説明はどうか。また、今回は寄附が財源だが、今後の対応は

答 試行実施状況を基に、トイレ個室に配置する。困っている方が使うものと説明し、保護者にも周知を図っていきたい。今後は県の動向を把握しながら対応を検討していく。

問 男子児童生徒への教育は

答 小学校の「保健」、中学校の「保健体育」の学習で適切に指導していく。

スクールバス取得について

問 購入と貸切の費用比較は

答 購入の場合、導入時に補助金がある。貸切バス運行は5年間の運行補助金がある。3台導入の5年間で比較すると、購入約5890万円、貸切約9560万円となり、購入が6割程度と安価である。10年間運行で比較すると、購入が貸切の3分の1程度となる。

問 購入したバスの活用方法は

答 児童生徒の分布、人数、利便性に配慮し、適正な運行を図る。スクー

ルバス以外での活用方法は、全庁的に検討していく。

消防団員について

問 減少数に合わせていくのか

答 統合再編で消防力低下を招かない団員確保を目指す。

問 県内類似団体（*）の団員数、減少への長期的展望は

答 菊池市1537人、合志市655人、玉名市1438人、荒尾市428人。昼火災の出動態勢を確保する1500人程度を目標にしている。

問 今後の女性活用、活動制限は

答 現在、女性団員35人、女性消防吏員2人。令和7年度までに消防職に5%の女性をと国が示しているのので、受験増加を促している。重量物扱いや煙蔓延家屋に進入しないなどの制限はあるが現場での活動も認められている。



山鹿消防署東分署建設予定地

現地視察

工事請負契約を結ぶ「山鹿消防署東分署建設予定地」で説明を受けた。

*類似団体：市町村の「人口」「産業構造」等似ている自治体

TSMC進出による本市の戦略について

質問 TSMCの従業員・関連企業従業員の居住地として選んでいただける居住環境整備は

答弁 経済部長

子育て、教育、医療といった生活する上で必要不可欠なソフト面での支援が重要であるため、企業誘致等に向けた「推進本部」並びに「プロジェクトチーム」と合わせて、「土地活用」「暮らし支援」「子育て応援」「にぎわい創出」「健康福祉」の5つの部会を設置し、全庁挙げて推進する。

質問 物流アクセス強化の為に国道325号線の4車線化の推進は

答弁 早田市長

本市への関連企業を誘致する際にも重要な路線と捉え、地元説明会や用地買収などへの協力を行っていく。

企業版ふるさと納税について

質問 eスポーツ関連事業の活動状況は

答弁 総務部長

鹿本小学校をモデル校に任天堂switchを使用したプログラミング学習を実施しており、プログラミング学習の実践に基づく学習指導用のマニュアル作成を行うこととしている。

農業生産コスト高騰に対する施策について

質問 農業経営の現状と国県・市の施策状況は

答弁 経済部長

新型コロナウイルス感染症などによる影響が長期化する中で、高騰が続いている。農業物価指数は、対前年度で比較した場合、農業生産資材全体で10.0%上昇している。これを農産物価格への転嫁も厳しいため、農業経営に甚大な影響を及ぼしている。

施策の状況として、県の事業による品目転換や資材及び機械の導入に対する支援をした。また、国の事業では燃油価格の一定基準を上回った場合の補填金を支援した。

今後も、県の事業（配合飼料価格高騰対策）や、国の事業（肥料価格高騰対策）が予定されているが、さらなる農業生産コストの高騰が見込まれるため、本市でも国や県の動向を見極め、必要な対策を講じていく。



とよだ しんじろう

豊田新二郎 議員

(清風やまが)



オムロンハンドボール女子チームへの支援について

質問 プロリーグへの参入要件である行政支援は

答弁 教育部長

ホームゲームの開催及び活動時の総合体育館の利用に関する支援や、試合・イベント等のPR、ユースチーム(U-12)の育成に関する支援を行っていく。あわせて、本市初のプロチーム誕生を契機に地域振興や地域の活性化に向けた取り組みを一層推進する。

山鹿ビルについて

質問 市営住宅としての機能を廃止された現在の状況は

答弁 建設部長

安全確保のための定期的な安全パトロールを実施するとともに、市が主体となり区分所有者との協議を進めながら解体に向けた合意形成に努める。

せいだ しょういち

勢田 昭一 議員



人口増加を目的とした教育環境の充実について

質問 義務教育における出席扱いの拡大と今後の方向性は

答弁 首席教育審議員

本来登校すべき学校へ登校できなくても、本市に開設している3つの教育支援センターを利用する場合は、出席扱いとしている。

ここ数年、民間のフリースクールを利用する児童生徒も出てきており、本年度中に教育委員会と校長会の代表による協議を行う予定。

児童生徒一人一人の将来の社会的自立に向けて、学校と歩調を合わせた上で共に協力し、教育活動を進めていくことのできるフリースクールについては、出席扱いにする基準を作成したいと考えている。

※上記のほか、「後継者育成を目的とした組織づくり（菊鹿町葡萄生産振興会・山鹿灯籠師組合）」について質問



ながた たけひろ
永田 壮弘 議員
(清風やまが)

山鹿灯籠まつり中止による影響について

質問 中止までの経緯および理由は

答弁 市長

連日100名を超える新規感染者の発生、医療体制の危機的状況、消防機能の低下など、市民の安全安心を支える社会基盤に影響が出てきた。よって、市民を守るため苦渋の決断の末に中止を要請した。

質問 中止による経済損失は

答弁 経済部長

宿泊者は2日間で約700名のキャンセル、約1100万円の損失となったが、周辺の飲食業や交通事業者などの影響を含めると、かなりの経済損失になったものと思われる。

質問 今後の経済支援策は

答弁 経済部長

本市独自の支援策については、国や県の動向も注視しつつ、市内経済団体との意見交換会で実情を把握した上で、燃料や物価高騰などの影響も勘案しながら検討する。

質問 市民に寄り添う姿勢が大切だと思うが、市長からメッセージを

答弁 市長

まつり中止による影響は多大である。観光支援策については、すでに観光部局に指示をしたが、いただいたご意見を受けとめ、さらに山鹿の観光に力を入れ、にぎわいづくりにまい進する。

学校におけるICT環境整備について

質問 市内小中学校の無線LAN整備の現状は

答弁 教育部長

本市では、タブレットの通信手段として「LTE方式」を採用していることから、整備率は3.5%と低く、現時点で無線LANの整備を進めていない。

質問 避難所としての機能も持つ学校の今後の無線LAN整備の方針は

答弁 教育部長

今後、ICT機器を活用した新たな授業を展開していくには、無線LANの整備は大変有用であるため、学校と連携を図り、調査・研究を進めていく。



きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員
(公明党)

高齢者支援対策並びに介護保険の補助制度について

質問 認知症予防対策としてどのような取り組みをしているか

答弁 福祉部長

70歳と75歳の年齢到達時に基本チェックリストによる調査を実施。その結果、認知症予防のための取り組みが必要と思われる方には通所型サービス「はつらつ学校」等につないでいる。

質問 介護保険を利用した福祉用具の購入や住宅を改修する際の補助制度はどのようなになっているか

答弁 福祉部長

福祉用具購入費と住宅改修費については、「償還払い」と「受領委任払い」の2つの方法がある。受領委任払いを利用するためには一定の条件がある。

地方創生臨時交付金の活用について

質問 学校給食への地域・地元産食材の活用は

答弁 総務部長

コロナ禍以前から、ほぼ全ての学校給食において、地元産の食材を採用している。

質問 生活困窮者への本市独自の支援策は

答弁 総務部長

独自の支援策である「プレミアム商品券」及び「山鹿の未来を担う子ども応援券」により、生活困窮世帯を含めた市民生活への支援と地域経済の下支えを両輪で進めることとしている。

質問 本市の実情に応じた今後の支援策は

答弁 総務部長

今後の感染拡大や物価高騰等の状況、国や県における追加支援策の動向をしっかりと見極めた上で、時期を失することなく、市民や事業者の現状・ニーズに応じた対策を効果的に実施する。

不登校特例校の設置推進並びに小中学校設備の状況について

質問 小中学校の施設・設備の安全点検の体制はどうなっているか

答弁 教育部長

山鹿市学校施設長寿命化計画に基づき、定期的なメンテナンスや設備の更新を行い、安心・安全な学校環境づくりに努めている。

旧統一協会※系団体行事後援について

質問 ①今回ピースロード後援を中止した経緯は
②これまでと今後の関わり、相談体制は

答弁 ①総務部長 ②市長

①市民の不安や懸念が増大している中、名義後援継続は不適切と判断し、8月3日に名義後援の取り消しを決定し、申請団体へ通知。

②同団体との深い関わりはなく、これからも関わりを持つことはない。今後の後援申請等も、市民から懸念や疑念を持たれないよう、より慎重に対応していく。同団体との問題をめぐり お困りの方は、市の消費生活相談窓口等にご相談いただきたい。

※日本共産党は、統一教会（世界平和統一家庭連合）ではなく、設立時の名称「世界基督教統一神霊協会」の略称「統一協会」を使っています。

安心安全なまちづくり住民を守り切る防災・減災への備えについて

質問 ①自主防災組織の活動は
②防災計画策定時に住民が参加する取り組みは

答弁 総務部長

①要支援配慮者を把握する安否確認訓練、災害図上訓練等が行われている。

②家族構成や生活環境に合わせた「マイタイムライ

いもう

芋生 よしや 議員

（日本共産党）



ン」の作成を通じて、安心安全な避難行動につなげていただきたい。蒲生地区では、「マイタイムライン作成支援動画」試写会に多くの住民が参加予定である。

山鹿市総合防災マップは発行から5年以上経過、その間「避難勧告」と「避難指示」の避難情報一本化。市内の洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の見直しが進んでいる。

それらを踏まえ、自然災害発生時に必要となる行動や用語説明、避難経路、土地の高さなどの防災情報に加え、より見やすいものへと改訂を考えている。

質問 学校と防災関係機関合同の防災訓練は

答弁 教育長

学校は、地域の中心的存在であり、地域が一体となっていく防災・減災訓練については、積極的に取り組む姿勢である。

※上記のほか「学校給食の支援費」について質問

学校施設（めのだけ小学校屋内運動場）について

質問 6月定例会での必要面積不足解消に対する答弁は、建物強度が認められる間は現状維持。強度面ではなく、必要面積不足解消をどう考えているか

答弁 教育部長

耐力度調査から7年が経過しているが、老朽化による不具合は確認されていない。今後「山鹿市公共施設等総合管理計画」及び「学校施設長寿命化計画」に基づき、劣化度や耐力度などの調査の結果、安全性が確保できないと判断した場合、建てかえも視野に計画を進めることになる。

質問 統合校検討時に必要面積不足を把握。建てかえなかった理由は

答弁 教育部長

平成25年度に耐震改修と劣化部の改修工事を完了、開校前の平成27年度の耐力度調査で基準を満たしていたから。

うどう たつき

有働 辰喜 議員



公有財産の処分について

質問 学校再編による廃校跡地利用は行政活用及び地域活用が見込めない場合、売却・譲渡が基本であるが、処分に対する規約を設け、公募等による売却処分等をスピード感を持って行うべきでは

答弁 総務部長

財産の所管がえ、鑑定評価等を行い、地元住民の意見・要望も考慮した公募要領を作成、速やかに公募による売却・譲渡を進める。

※上記のほか、学校施設関連で、法律（政令・省令）と市策定計画のどちらに優先権があると考えているのか。公有財産処分関連では、プロポーザル審査項目にある地域貢献の地域とは、売却処分対象廃校のある旧学区と考えるが、山鹿市の考える地域とは（旧学区も含む山鹿市全域を評価対象としている）などを質問



たてやま だいごろう
立山 大二郎 議員
(清風やまが)

保健所跡地の利活用について

質問 跡地取得の経緯や今後の計画は

答弁 ①福祉部長 ②市長

①県から保健所移転に伴う跡地活用の打診があり、市民医療センターと隣接し、医療と福祉の連携が可能で交通の便もよいことから取得を希望した。

新たに整備する施設は、福祉会館機能に加え「高齢者福祉・介護予防」の拠点として整理し、機能を分散していた長寿支援課を統合し、高齢者等の身体的弱者に配慮した避難所としても活用する。

②スペース不足や老朽化などの課題を抱える既存施設の活用を整理しつつ、将来にわたって市民が安心して暮らし続けられるための施設として整備したい。議会に対しても説明責任を果たしていく。

読書活動推進員の配置について

質問 人員数や研修などについての考えは

答弁 教育部長

さらなる読書活動推進のためには、ICTの利活用や授業支援、特別支援教育や、不登校対応等の考慮が必要。適正な人員確保に配慮しつつ、研修の実施や、公立図書館との情報交換など、読書活動推進員の資質向上に努める。

宿泊客増加への振興策について

質問 助成の利用促進の手法は

答弁 経済部長

コンベンション助成は市内在住の方も利用可能。今後はスポーツの他、文化面など多方面での利用を促進させるため、対象団体の拡大など利用しやすい制度へ見直しを検討する。

※上記のほか、「保健所跡地の維持管理費」について質疑



かなみつ いっせい
金光 一誠 議員
(れいわ創造)

人口減少対策について

質問 人口減少対策は、大変重要な課題であり、山鹿に住んでみたい、山鹿に住んでよかったと言える事業に積極的に取り組んでいただきたと思うが、特に強化している事業は

答弁 ①市民部長 ②福祉部長 ③教育部長

①移住・定住施策として空き家バンク制度と移住希望者・移住者への相談・フォロー業務について、民間の専門性と機動力を活かした一体的、一元的な業務委託に切り替え、包括的かつ一元的な移住支援となるよう見直しをして進めている。

②対象年齢を18歳まで拡大している。子ども医療費助成事業や1歳までのお子さんがある世帯へおむつやミルクの購入ができる育児用品購入助成事業に取り組んでいる。

③全ての児童・生徒が学習できる環境づくりとして、LTEモデルのタブレットを活用したICT教育の充実など県内でも先進的、特徴的な取り組みを進めている。

原油原価・物価高騰対策について

質問 農業用ビニールなど被覆資材、飼料、燃油、肥料、薬剤など値上げが相次いでおり、農家にとっては農産物価格への転嫁が難しく、苦しい状況が続く離農する農家もふえてくると懸念される。コロナ禍以降、これといった農業支援策が打ち出されていないが、農業に対して支援をするのか

答弁 市長

今後も営農継続に必要な経費の高騰が続く見込みで、農家へのさらなる支援が求められるため、国や県の動向を見極め、必要な対策を講じていく。

第3セクターについて

質問 水辺プラザの経営健全化に向けた指導体制は

答弁 経済部長

第3セクターの自立支援に向けた支援を図るため、ヒアリングを実施し、事業改善計画書の提出を求めている。経営状況については、若干の改善点がみられるものの、依然として厳しい状況である。今後もしっかり経営状況を把握し、必要に応じ専門家の意見を取り入れながら、指導、助言を徹底する。

※上記のほか、「地域老人会の支援策、サロン会の事業内容、地域が取り組める高齢者対策」「ふるさと納税額の状況、新商品開発や返礼品の商品数」について質問

歴史と文化のまちやまがについて

- 質問** ①文化財・文化活動の現状は
②拠点づくりの必要性は
③歴史と文化のまちづくりの拠点づくりと担当部署の強化を含めた今後の方向性は

答弁 ① ②教育部長 ③市長

①本市には、国指定文化財が11件、国の登録文化財が3カ所の12件、県指定文化財が19件、市指定文化財は159件あり、県内でもトップクラスの件数である。多種・多様な文化財は、市民の大切な財産として、保存・継承に努めながら、市民の郷土愛を育み、誇りにつながるように、さまざまな活用を展開している。

山鹿市文化協会の団体数は60団体、会員数は611名（令和4年度）で、民俗芸能団体は19団体の365名（令和3年度）が活動を行っている。会員の高齢化が進み、会員数も減少しており、活動の支援を行い、地域文化の振興に繋いでいく。

②博物館は、本市の歴史・文化の拠点としての役割を担っている。建設から44年が経過する中で、将来の博物館の望ましいあり方について整理することを目的に、今年度、博物館等整備方針調査研究業務に着手した。

ながた こうじ

永田 紘二 議員



③本市の歴史・文化はかけがえのない貴重な財産であり、大切に継承し、周知活動にも力を入れ、修学旅行や国内外の観光客の誘致につなげて地域の活性化を図る。

目指す本市の将来ビジョンは「山鹿創生」の実現である。長い歴史に培われた伝統文化や市民の気質等を礎に、活力ある山鹿を築いていくために、短期、中期、長期の戦略をもって進めていくことが重要であるため、これを担う専門的な人材の確保・育成と実効性のある推進組織体制について、検討を進める。

ころう君と学ぶ！ 「議会用語の基礎知識」

「附帯決議」ってなんだコロ～？

ころう君：議会は、「議決機関」って教えてもらったけど、議決する時に条件つけたらいけないコロ～？

チヨマツ：そういえば、ころう君は「おにぎり追加で賛成コロ！」って、言ってたね！でも議会では条件つきで、賛成（可決）や反対（否決）をすることはできないんだ。

ころう君：おにぎり追加は言えないコロか～？

チヨマツ：もちろんおにぎり追加は言えないけど、議会で可決した案件に対し、市長や教育長へ意見や要望をつけることはできるよ。それを「附帯決議」って言うんだ。市民の意見をより反映することができるんだよ。



右の附帯決議は、
9月定例会で可決されたコロ～♪

* 詳しくは、
山鹿市議会事務局まで

議案第57号 令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第3号）に対する附帯決議

コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている子育て世帯への緊急的な生活支援の一環としての「山鹿の未来を担う子ども応援事業」については、子ども1人当たり3万円分の子ども応援券を配付するものである。

この「山鹿の未来を担う子ども応援事業」については、市民の意見を十分に反映し、目的に沿った予算執行を行うこと。

以上、決議する。

※附帯決議とは、議案を議決する際に付される議会の意見・要望のことをいいます。法的な強制力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。

令和4年（第3回）9月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第53号	山鹿市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第54号	山鹿市部落差別をなくす等人権を守る条例の一部を改正する条例	可決
議案第55号	山鹿市特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例	可決
議案第56号	山鹿市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第57号	令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第58号	令和4年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第59号	工事請負契約の締結について	可決
議案第60号	財産の取得について	可決
議案第61号	工事請負契約の締結について	可決
認定第1号	令和3年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	令和3年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第3号	令和3年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第4号	令和3年度山鹿市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第5号	令和3年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第6号	令和3年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第7号	令和3年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第8号	令和3年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第9号	令和3年度山鹿市水道事業会計決算の認定について	認定
認定第10号	令和3年度山鹿市病院事業会計決算の認定について	認定
認定第11号	令和3年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について	認定
陳情第2号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出に関する陳情書	採択
議員提出 議案第4号	議案第57号に対する附帯決議	可決
議員提出 議案第5号	山鹿市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
意見書案 第3号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	可決

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20
議 員	関 口 和 良	永 田 壮 弘	深 牧 大 助	原 芳 郎	隈 部 賢 治	高 橋 龍 一	豊 田 新 二 郎	山 下 誠 治	古 川 和 博	金 光 一 誠	松 見 真 一	立 山 大 二 朗	小 川 榮 二	芋 生 よ し や	勢 田 昭 一	有 働 辰 喜	富 丸 洋 一 郎	北 原 昭 三	永 田 紘 二
議案第57号	●	○	○	●	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）

賛成討論

議案第57号
7番 豊田 新一郎

管理経費の補正は、前提に土地開発基金による保健所跡地購入がある。この土地は、バス路線に面し利便性がよく、市民医療センターとの連携の可能性が広がる場所である。超高齢社会を迎え「高齢者福祉・介護予防の拠点」を整備し「福祉と医療の連携

強化」に取り組む姿勢を理解し賛成する。
「山鹿市の未来を担う子ども応援事業」の商品券は、新型コロナウイルスや物価高騰の影響を強く受けている子育て世代の支援に加え、先行事業であるプレミアム商品券同様、地域経済の回復を図る目的もあることから賛成する。

反対討論

議案第57号
14番 芋生 よしや

「個人番号カード受付事務費」住民が不安に思い、取得が進まない事業には、カードの必要性和情報管理体制に関して説明を尽くし、住民に納得してもらうことが必要
認定第1号
無資格者の調剤行為を戒める通達が出る劇物を使い、学校での集団フツ化物洗口実

施に反対
認定第2号
高すぎる国保税の引き下げ求め反対
認定第3号
年齢で差別し、負担増を押しつける医療制度に反対
認定第5号
制度の矛盾が深刻、市民の負担増に反対

議案第57号
4番 原 芳郎

児童家庭支援費について
18歳以下の子育て世帯には、保育料や給食費、学級費等に使えよう、現金にする。燃油・物価高騰等で影響を受けている農業・商業・工業、また、灯笼まつり中止で影響を受けられた観光業の方々への支援策も必要。

令和2年6月から、令和3年3月までの期間、給食費無償化がなされた。その時のほうが、保護者の方々の記憶に残り、助かったように感じた。
財政調整基金を財源として活用するのであれば、子どもから高齢者までが支援を得られるような対策、中・長期的な支援策が必要。

議案第57号
10番 金光 一誠

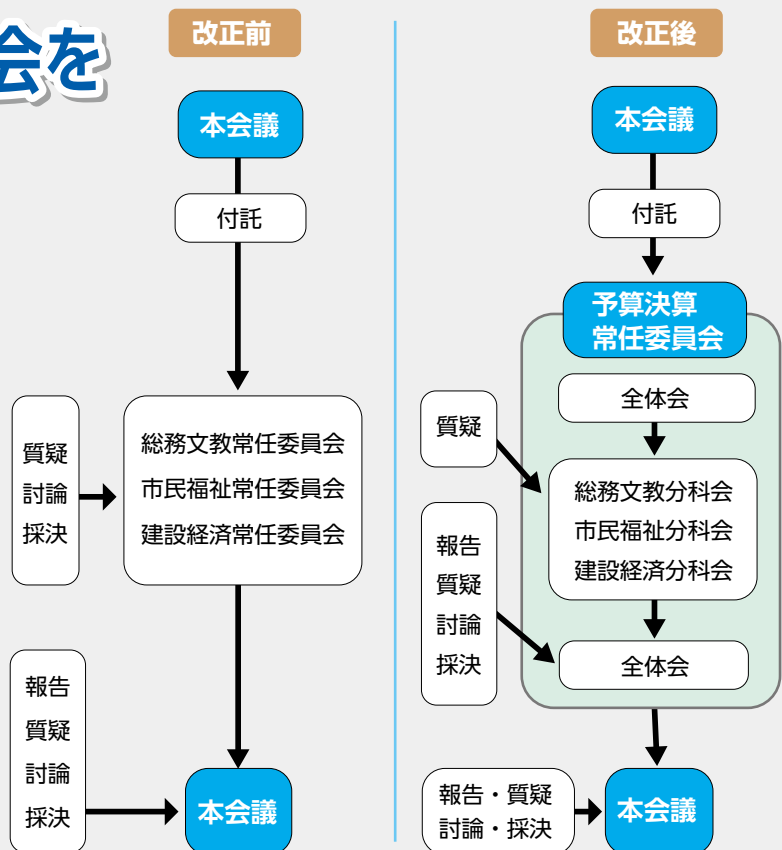
社会福祉総務費の管理経費について
福祉会館建設の要件が揃っていれば、反対はしないが判断するための材料不足と議会軽視に尽きる。
第一に、構想案ができておらず、どのような機能を持たせるかも定かではないこと（福祉会館の利用は、普通車だけでなく、大型バスの乗り入れなど、余裕を持たせた

駐車場の確保が必要で、山鹿保健所跡地では面積の確保が十分にできない）
第二に、市有地や既存施設を含め、検討委員会で慎重な議論がされていないこと。（市有地を活用する場合、用地を取得する経費も発生しない。税金の無駄遣い）
今の段階では、時期尚早であり、管理経費（保健所跡の建物）41万4千円については、現状を考察し反対する。

予算決算常任委員会を設置します

9月定例会にて「予算決算常任委員会」を設置する条例改正を行いました。審査の対象は、一般会計の当初予算、補正予算・決算です。

これまで山鹿市議会では予算・決算の議案を、それぞれ所管する常任委員会に分割付託していましたが、今後は1つの委員会で総合的・一体的に審査することになります。これにより、議員間討議を活発にし、合意形成を図りながら、議会の政策活動および監視機能を強化してまいります。



第30回熊本市議会議員研修会

令和4年8月17日(水)、第30回熊本市議会議員研修会が市民会館シアーズホーム夢ホールにて開催されました。研修会では、株式会社グランドレベル代表取締役社長の田中元子（たなかもとこ）氏をお招きし、「地域が元気になるヒント」を演題として講演が行われました。

会社名であるグランドレベル、翻訳すると「1階」。道路や公園、広場や川辺、それら「まちの1階」の景色の中にある日常的な人々の営みが、まちの基本だと考える田中氏。「1階づくりはまちづくり」という考えのもと、地域の人々がまちの小さな主役になれるような空間づくり、施設づくり、まちづくりを全国で展開されています。

地域の人々が多様な目的で利用できる私設公民館「喫茶ランドリー」のお話では、オープンをきっかけに人通りの少なかった街の空気は一変し、今や地域をつなぐコミュニティとして親しまれているとのこと。

また、「まちの1階」への居場所づくり、人の姿が見えるまちづくり、などの講演をいただきましたが、中でもベンチを設置することによる効果については大変印象的でした。山鹿市においても、さまざまな場面で活用できるのではと感じたところです。これからの元気な山鹿市づくりのために、今回の研修会は大変有意義なものとなりました。



熊本市議会議員研修会

日本遺産 4 市町合同議員研修会

日本遺産に認定された菊池川流域の振興と交流を目的として、令和4年8月10日に4市町（菊池市・山鹿市・玉名市・和水町）の議員による研修会が泗水公民館にて行われました。

菊池市教育委員会の歴史教育専門員 西住欣一郎氏が講師として、阿蘇から有明海に注ぐ菊池川の地形や地質の変化から、流域の歴史についての研究成果を発表されました。

古墳に使われた石の運搬から、古代から受け継がれる条里や山間部の井手、近世以降の干拓など、人々と菊池川とのかかわりについて詳細に述べられ、とりわけ米つくりと水運による米の輸送によりこの流域が隆盛を誇った経緯などを説明されました。また中国など海外との貿易による日本最古の中国人墓やキリシタン墓地などの史跡についても触れられ、「古くから非常に国際色豊かな地域であった」ことも強調されました。

各市町の議員との活発な質疑応答もあり、菊池川の自然や歴史的遺産を、どのようにして次世代に継承していくかについて、改めて学びを深める研修となりました。



日本遺産 4 市町合同議員研修会

議会の主な動き

7月

- 1日(金) 矢谷キャンプ場オープニングセレモニー
- 5日(火) 山鹿市物産振興協会総会
- 6日(水) 広報広聴委員会
- 12日(火) 広報広聴委員会
- 19日(火) 国道3号植木バイパス早期実現期成会総会
- 21日(木) 議会運営委員会
- 24日(日) 山鹿市消防操法大会
- 28日(木) 熊本県北市議会連絡協議会

8月

- 1日(月) 全員協議会
広報広聴委員会
- 2日(火) 「平和を祈念する日」式典
市民福祉常任委員会行政視察(～4日)
- 8日(月) 広報広聴委員会
- 10日(水) 日本遺産に関する4市町議会合同研修
- 16日(火) 大宮神社例大祭献幣の儀
- 17日(水) 熊本市議会議員研修会
広報広聴委員会
- 23日(火) 議会運営委員会
- 26日(金) 熊本県市議会議長会
- 30日(火) 9月定例会開会・全員協議会
広報広聴委員会
- 31日(水) 令和3年度熊本県後期高齢者医療広域
連合決算審査

9月

- 5日(月) 議会運営委員会
- 7日(水) 質疑・一般質問・広報広聴委員会
- 8日(木) 質疑・一般質問
- 9日(金) 建設経済常任委員会
- 10日(土) 山鹿市敬老表彰式典
- 12日(月) 市民福祉常任委員会
- 13日(火) 総務文教常任委員会
- 15日(木) 議会運営委員会
- 16日(金) 9月定例会閉会・全員協議会
広報広聴委員会
- 17日(土) 議会報告会(山鹿・鹿本)
- 26日(月) 広報広聴委員会

行政視察

ようこそ山鹿市へ

10月6日、北海道名寄市議会(市政クラブ)より、「一般廃棄物処理施設整備事業」について、山鹿市環境センターへ来られました。山鹿市への行政視察の受け入れは、3年ぶりとなります。



編集後記

収穫の秋を迎え、時より夏の暑さを感じられるものの、夜になると肌寒い日が多くなりました。

収穫といえば、我が家でモ里芋・栗・米・まこもだけ・かぼす・レモンの収穫を行いました。

夏の風物詩、「山鹿灯籠まつり」が中止となりましたが、9月23日には山鹿青年会議所主催の「山鹿千人天燈(やまがせん)にんすかいらんたん」が開催され、山鹿の夜空が幻想的な灯りで埋め尽くされました。

その他にも「豊前街道浪漫」「鹿北いもくり街道」が開催されました。今後は、「さくら湯開湯150周年うまいものフェス(11月23日開催)」「くまもと山鹿和栗スウィーツフェア(11月30日まで)」「鞠智城フォートコンテスト(12月24日まで)」が予定されています。収穫の秋、食欲の秋の楽しみが待ち遠しいです。



スカイランタン

広報広聴委員会 深牧大助